

ふるさとの昔話

厚原中の朝日地蔵さん

八月十九日は厚原中区の朝日地蔵さんのお祭りでした。区民をあげて大切にされている朝日地蔵さんについて、区長の秋山勝雄さん（六十七歳）に伺いました。



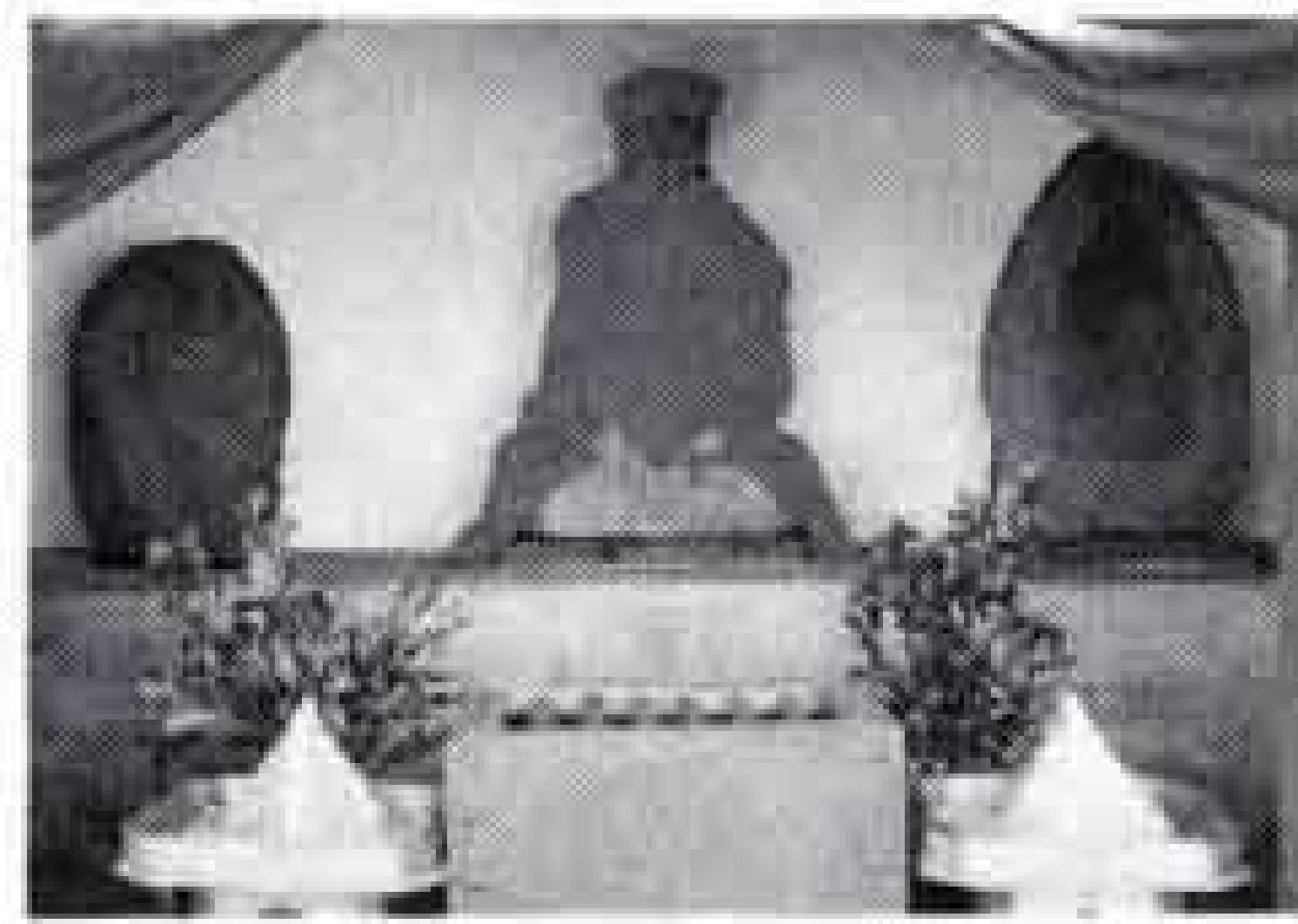
牛馬の冥福を祈る

昔々のことです。現在の市立厚原保育園のあたりは一面の畑でした。トラクターや耕運機のない時代のことですので、多くの家では牛や馬を飼い、農業の大切な労力としていました。牛や馬は大切にされていました。死んだ時、人々はその捨て場に困りました。そんな時、捨て場所となっていたのが、お地蔵さんのある場所です。だから最初、お地蔵さんは「捨て場の地蔵さん」と呼

ばれ、左右にある馬頭観音とともに、牛馬の冥福を祈る場所とされていました。

雨よ降れ

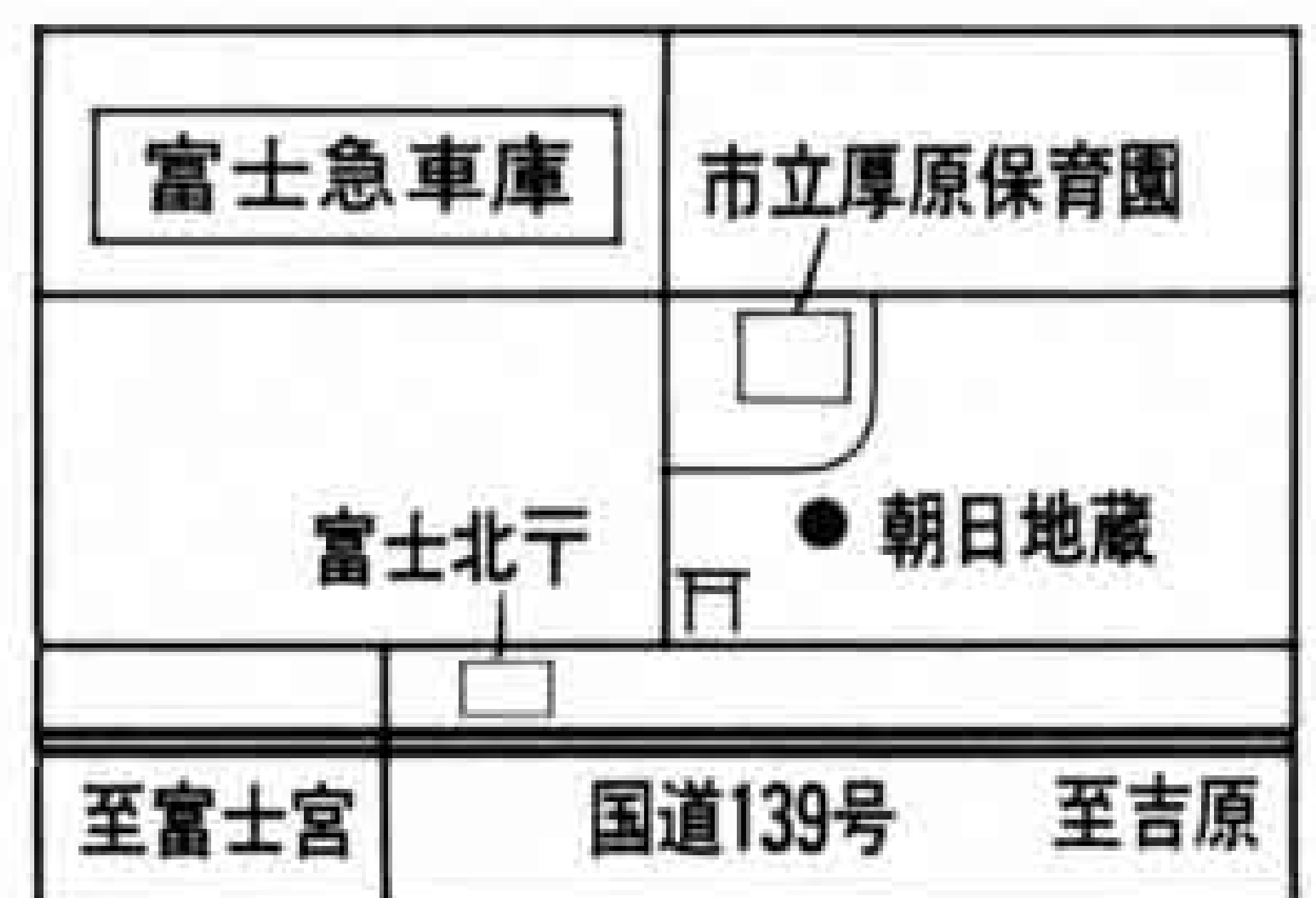
ある時、日照りが続き、農作物はもちろん飲み水にも困るようになりました。人々は、わらにもすがる気持ちで、うちわ太鼓をたたきながら一晩中お地蔵さんにお祈りしました。すると翌日、急に雲がわいたかと思うと雨が降り出しました。人々は大喜びで、お地蔵さんにお礼を言いました。



△朝日地蔵



△秋山勝雄さん



朝日をいつぱいに

そして、いつしか「捨て場の地蔵さんでは聞こえが悪い。お地蔵さんは東を向き、朝日をいつぱいに受けるので、朝日地蔵と呼ぼう」と言うようになり、今に至っています。

いろいろな御利益

秋山さんは「幼児の夜泣きやカンの虫を初め、いろんな御利益があります。先日歩けなくなつた人が、歩けるようになったという話を聞きました。お礼の千羽鶴などがたくさん上げられています。毎年八月二十三日に近い日曜日には、盛大に祭っています」と語ってくれました。

高齢者介護ホーム

あなたの生活便利メモ ④

「夫婦共働きで、虚弱なお年寄りを一人で家に残すのは、何とも心配」という人もいらつしやるかと思えます。



△やすらぎの家



笠井好美主事

そんな場合は、福祉課老人福祉係へ御相談ください。担当の笠井好美主事は「昨年四月、中央町に高齢者介護ホームやすらぎの家がオープンしました。ここは託児所ならぬ託老所のような

施設で、家族の送迎により虚弱なお年寄りをお預かりしています。お年寄りは、体操や余暇活動を行い、食事・入浴などのサービスが受けられます。利用料は一日七百円。お年寄りの自立を助けるほか、家族のリフレッシュにもなります」と話しています。入所を希望する人は、福祉課老人福祉係へ内線二三一八。

こちら編集室

「穴があったら入りたい」7ページで紹介した川村静子さんの本文中、女性フォーラムの実施日が10月28日

となっていますが、29日の誤りでした。おわびして訂正します。ところで、この体、穴に入るかなあー。



遊々タイム

【ヘラブナ釣り】

楽しみは、多いほどいいけれど、今泉・芦沢光雄さん(67歳)は、畑仕事や孫のお守り、釣りから

山芋掘りと盛りだくさん。中でも、一番長く続いているのが釣り。海釣りは、実益もありますが、芦沢さんは、金持ちの道楽とも言われる「ヘラブナ」釣りに凝っています。

なにしろ、釣り上げるのが難しい上に、獲物は後でみんな逃がしてしまうと言うのですから――。本当の釣り好きって、こういう人なのでしょう！

そろそろ山芋掘りのシーズン。一年を通して楽しみが控えています。ゆとり派は、遊び上手なんです。